

2月2日に行われた多文化交流実践研修の講義に参加させていただき、受講者の学生たちにチェコ留学についてお話ししました。留学の概要を、実体験をもとに、経験できることと暮しの両方の面から説明し、南ボヘミアの魅力を学生に紹介しました。この留学は、スケジュール内容を変更したり、現地の学生に日本の文化を伝える授業を行ったりと、行動力と実践力が求められ、教育学部ならではの「授業」を行うことができることが魅力であり、南ボヘミアの美しい街並みや文化に触れることができます。興味をもって聞いてくれた学生もいて、この貴重な経験を一人でも多くの学生にさせていただきたいなと思いました。

3月7日は、チェコと日本で久しぶりに交流しました。留学先でお世話になった先生と、先生が担当する英語クラスの学生たち、現地でお世話をしてくれ、日本にも来てくれたバディの学生などとオンラインで繋がりました。留学で行っていたように、簡単に日本の紹介をしたり、お互いの留学体験について話したり、それぞれの国の現状や今後の交流の仕方について話し合ったりしました。久しぶりの再会に心を躍らせ、楽しかった留学生生活を思い出し、さらに今後の交流の可能性も見えてきて、非常に有意義な時間になりました。なかなかお互いの国への行き来ができない中、オンラインという形でお互いの言語を教える授業をするなど、今後も交流を続けるための新しい手段を見いだすことができ、この活動を広げて新たな交流の形を作っていくのがとても楽しみです。